

農林水産物インバウンド需要拡大事業の3年間の流れ

	3年間事業のゴール：インバウンド向け農業観光ルートの創出		
	2020年度（1年目）	2021年度（2年目）	2022年度（最終年）
	Start Goal		
プロジェクトチーム活動	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトチームの立ち上げ ●農業観光ルート候補地の選定 ●外国人によるテストマーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業観光ルート案の作成 ●外国人によるテストマーケティング ●農業観光ルートの確定 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人によるテストマーケティング
インバウンド対応能力向上	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド対応ガイドブックの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド対応セミナー 	
農業観光ルートのPR	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人による情報発信 ●旅行関係者等へのPR ●農業観光ルートの周知・広報活動

※状況によりスケジュールは変更となる場合があります。

【参考】 外国人による農業観光体験の様子（過去実施事業）



額田産そば粉のそば打ち体験



ぶどう狩り体験



産地直売所の見学



酒蔵見学



バナナの収穫体験



産地直売所の見学

参加者の感想

- 母国には果物狩りというサービスがないのでとても新鮮だった。
- 日本の農業者のこだわりや熱意が伝わってきて感動した。
- こんな場所があるなんて知らなかった。友達にも紹介して、また訪れたい。